

令和4年度のPTA運営について

赤穂小学校PTA

令和4年3月11日

PTAのおいたち

わが国では、第2次世界大戦後にPTAが生まれました。

戦前には学校の後援会的な性格の強い父母会や保護者会がありましたが、戦後になってアメリカの例をモデルとしてPTAがつくられました。

昭和21（1946）年3月に、日本の教育の民主的改革のために来日していたアメリカ教育使節団が報告書を提出しました。

その中で、民主化の一つとしてアメリカのPTAを紹介し、日本でも結成することを勧奨したのです。

それを受けて、文部省は昭和22（1947）年3月に「父母と先生の会—教育民主化のために—」という冊子を作成し、各都道府県知事あてに配付して、PTAづくりを奨励しました。その結果、昭和25（1950）年までには全国のほとんどの小・中・高校にPTAが結成されました。

（「PTA運営の手引き」令和2年 奈良市PTA連合会より）

→PTAは、アメリカをモデルにして戦後に導入された

PTAの目的

「父母と先生の会（PTA）は、児童生徒の健全な成長をはかることを目的とし、親と教師とが協力して、学校および家庭における教育に関し、理解を深め、その教育の振興につとめ、さらに、児童生徒の校外における生活の指導、地域における教育環境の改善、充実をはかるため会員相互の学習その他必要な活動を行う団体である。」

（父母と先生のあり方について [昭和 42.6.23 社会教育審議会報告] ）

→PTAとは、子どもたちのすこやかな成長のために、保護者と教師が協力し、連携を深め、互いに学びあう団体

PTAと子ども会の関係

PTA

子どもたちの幸せのために保護者と教職員が自主的に組織し運営する任意団体

子ども会

日本中の子ども達の成長と幸福のための子ども会活動を目的（理念）として1965年（昭和40年）に社団法人全国子ども会は誕生し、2012年（平成24年）に公益社団法人全国子ども会連合会となった。

（全国子ども会連合会HPより）

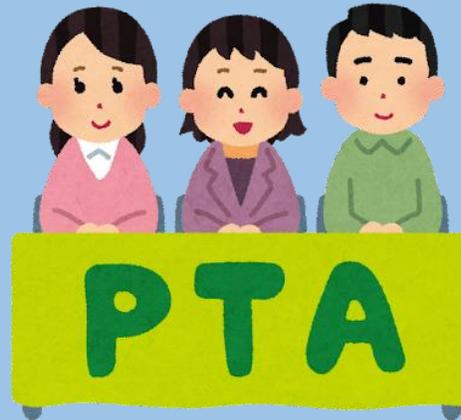
→PTAと子ども会は、別団体

本来の学校、PTA、子ども会の関係

学校



PTA



子ども会



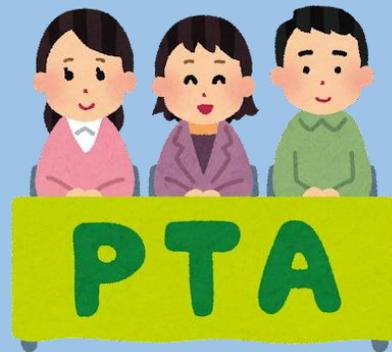
→学校、PTA、子ども会は、別団体

令和3年度までの学校、PTA、子ども会の関係（イメージ）

学校



PTA



子ども会



自治会



→複雑に入り組んでいる

令和3年度までの学校、PTA、子ども会の関係

令和3年度 PTA会計 決算見込み

費目	R3年度予算案	R3年度決算額	R4年度予算案	付記
収入の部				
会費	834,600	834,600	2600*318、2000*2、1600*1、6000*	
繰越金	510,707	510,707		
雑収入	0	5		
収入合計	1,345,307	1,344,912	0	
支出の部				
報償費	60,000	2,722		絵画提供者への感謝状(表彰額・表彰状)
研修費	40,000	13,180		第2回家庭教育学級講師料
旅費	10,000	0		
渉外費	20,000	0		
慶弔費	50,000	3,240		離任用菓子・入学式菓子
消耗品費	100,000	42,206		麦茶、吊り下げ名札
会議費	10,000	0		
広報費	170,000	115,000		親子の広場(計3回)見込み
負担金	100,000			
保険料	15,000			
運動会費	70,000			
雑費	10,000			
部活動費	80,000			
ふれあい活動費	10,000			
子ども会関係費	200,000			
雑費	20,000			
赤小積金	50,000			
合計	1,015,000			
児童福祉費				
報償費	80,000			
旅費	20,000			
消耗品費	30,000			
図書費	50,000			
児童活動補助費	35,000			
特別会計	50,000	50,000		ペンキ塗り作業代50,000
合計	265,000	176,116	0	
予備費	65,307		0	予算額の子備費差異は、収入合計の差異と同じ
支出合計	1,345,307	655,709	0	
残高		689,203		

令和3年度 PTA会計 決算見込み

赤穂市立赤穂

日 R3年度予算案 R3年度決算額 R4年度予算案 付

費	R3年度予算案	R3年度決算額	R4年度予算案	付
ふれあい活動費	10,000	0		
子ども会関係費	200,000	112,800		安全共済会費112,800
雑費	20,000	20,000		卒業生リボン
赤小積金	50,000	50,000		

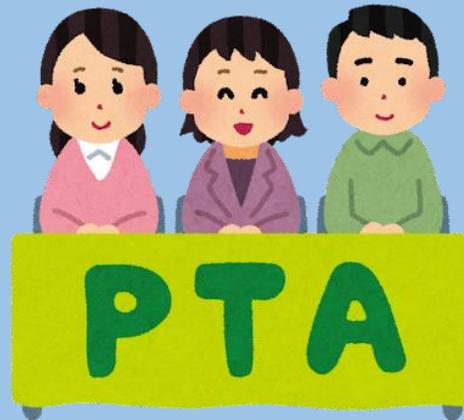
PTAの予算に「子ども会」の支出があることから、PTAと子ども会が混同されていることがわかります。

本来の学校、PTA、子ども会の関係

学校



PTA



子ども会



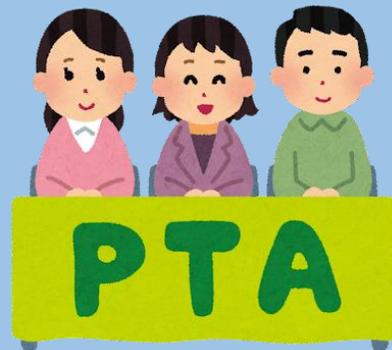
本来の関係に戻していかなければなりません、
一気に全てを変えようとすれば混乱を生むでしょう

そこで、R4年度は、

学校



PTA



子ども会



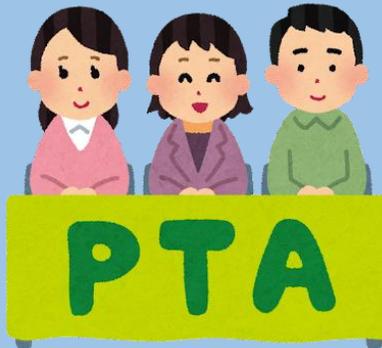
①PTAと子ども会を分ける

そこで、R4年度は、、、

学校



PTA



子ども会



②PTAをスリム化する

赤小PTA R4年度の方向性

- ①PTAと子ども会を分ける
- ②PTAをスリム化する

①PTAと子ども会を分ける

- 子ども会関係費をPTA予算から削除する
- 子ども会の保険については、
PTA費からの引き落としではなく、
各子ども会の子ども会費から徴収する。

②PTAをスリム化

- 予算のスリム化

→会費を2600円から1200円に。(月100円×12ヶ月)

- 活動のスリム化

→学級役員の廃止 等

「できる人が、できる時に、できる事を」

というPTA活動にしていくために、
ご理解とご協力を
よろしくお願いします。

